

開講年度・学期	2018年度・通年	授業形態	演習
科目名	専門演習（法社会学）	科目ナンバー	JASEM3303
英語表記	Seminar on Sociology of Law	担当教員	阿部 昌樹
単位数	4		

### 科目の主題

都市の法社会学

### 授業の到達目標

我々は、都市に暮らしている。都市という社会空間は、それに特有の生活様式や人間関係を創発させ、また、それとともに、それに特有の紛争や犯罪等の法現象を産み出しているはずである。しかしながら、改めて、都市という社会空間に固有の特性とは何であり、それが、生活様式、人間関係、紛争、犯罪等にいかなる特色をもたらしているのかと問うならば、その答えはけっして自明ではない。本年度のゼミでは、都市という社会空間に着目し、それがどのようなものであり、そこにどのような法現象が発生しており、法制度はそうした都市的法現象にいかに対応しているのかを検討する。より具体的には、都市における近隣紛争と法、都市空間の整備と都市計画法制、都市住民運動と裁判、都市型犯罪といったテーマについて、我が国の都市における実例に即して考えることを目的とする。

### 授業内容・授業計画

第1回 ガイダンス	第16回 演習（個別報告・討論）
第2回 演習（文献講読・討論）	第17回 演習（個別報告・討論）
第3回 演習（文献講読・討論）	第18回 演習（個別報告・討論）
第4回 演習（文献講読・討論）	第19回 演習（個別報告・討論）
第5回 演習（文献講読・討論）	第20回 演習（個別報告・討論）
第6回 演習（文献講読・討論）	第21回 演習（個別報告・討論）
第7回 演習（文献講読・討論）	第22回 演習（共同報告準備・討論）
第8回 演習（文献講読・討論）	第23回 演習（共同報告準備・討論）
第9回 演習（文献講読・討論）	第24回 演習（共同報告準備・討論）
第10回 演習（文献講読・討論）	第25回 演習（共同報告準備・討論）
第11回 演習（文献講読・討論）	第26回 演習（共同報告・討論）
第12回 演習（文献講読・討論）	第27回 演習（個別報告・討論）
第13回 演習（文献講読・討論）	第28回 演習（個別報告・討論）
第14回 前期のまとめ	第29回 演習（個別報告・討論）
第15回 後期の演習の進め方についての討論	第30回 全体のまとめ

### 事前・事後学習の内容

前期については、第1回の授業で指示する各回の指定文献を、該当する回の授業前に精読するとともに、授業内容を踏まえて、その指定文献の内容について復習することを求める。後期については、各回の個別報告および共同報告のために必要な準備を行うとともに、各回の報告および討論の内容を授業後に振り返り、問題点を解消しておくことを求める。

## 評価方法

授業への参加状況、講読文献の理解度、個別報告および共同報告の完成度を総合的に評価する。なお、出席回数が3分の2未満である場合には、原則として単位を認定しない。

## 受講生へのコメント

法が、都市という社会空間においてどのように作動し、そこに何をもたらしているのかを考えることが、本年度のゼミの課題である。この課題に取り組むためには、まず、都市とはどのような社会空間なのかを理解しなければならず、法学の文献だけではなく、社会学や政治学の文献も読む必要があるし、現実の都市を観察する必要もある。そうした学際的な取り組みに関心のある学生の参加を期待する。

## 教材

第2回から第13回までの授業で取り上げる教材は、第1回の授業の時間に指示する。教科書的なものではなく、専門的な学術論文を主として取り上げる。また、ひとつの法現象・社会現象について様々な研究方法があり、対立する解釈が主張されていることを知るために、かなりの量の文献を読むことになる。第16回以降の授業は、受講者の個別報告と共同報告を中心としたものとなるが、各回の報告についての理解を深めるために有益な文献を適宜指示する。

## その他

## 履修可能最低年次

3年次生以上